

水通信



2019.6.26 第168号

「水通信」は、水資源機構全体や中部管内における取り組みに関する情報を、中部管内の関係者（関係県、関係市町村、関係土地改良区、およびその他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

目 次

☆ [【巻頭言】](#)

- 豊川用水総合事業部長 細山田 真

☆ [【中部管内水源情報】](#)

☆ [【新着情報】](#)

[中部支社](#)

- 「なごや水フェスタ」に中部管内3ダムが出展

[豊川用水](#)

- 節水を解除しました
- 奥三河のダム巡りツアーが開催されました

[木曾川水系連絡導水路](#)

- 第10回長良川源流の森育成事業に参加しました

愛知用水

- クリーンアップ愛知池を実施しました！
- 産官学連携講座授業で愛知池に関する講義を行いました
- 愛知用水利水者連絡協議会植樹祭が開催されました

木曾川用水

- 大規模地震に備え危険箇所の現地点検を実施しました
- サツキマスの郷土料理を初体験！
- 水質事故対応訓練を実施しました

岩屋ダム

- 洪水対応演習を実施しました
- 鮎の迷入防止実験を行いました
- 水源地保全活動に参加しました

阿木川ダム

- 洪水対応演習を実施しました
- 貯水池周辺の環境保全活動に参加しました
- 阿木川ダム防災操作に関する説明会を開催しました
- 阿木川ダム周辺に野生動物出現のための注意喚起を行いました

徳山ダム

- 徳山ダム洪水吐きからの点検放流を行いました
- 徳山ダム体験ツアー（新緑の徳山ダム堤体登坂）
- 揖斐川町内小学生の徳山ダム体験学習を実施しました
- 徳山湖でEボート体験を実施しました

長良川河口堰

- 第24回木曾三川交流レガッタに参加しました

味噌川ダム

- 味噌川ダムで職場体験を行いました

三重用水

- 赤川の清掃活動を実施しました
- 「第22回ツアー・オブ・ジャパン いなベストージ」が開催されました

☆ 【イベントカレンダー】

- 7月、8月のイベント

☆ 【編集後記】

- 担当課 中部支社事業部水管理・防災課

巻頭言

【豊川用水総合事業部長 細山田 真】

本年4月に豊川用水総合事業部長を拝命いたしました細山田です。前任者同様、どうぞよろしく申し上げます。

就任以来、県、土地改良区を始め関係する利水者の皆様には、豊川用水の管理業務及び二期事業の推進にあたりご支援ご協力をいただいております。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

また、例年にない小雨のため4月中旬から渇水対策を実施し、関係者の皆様には節水をお願いして参りましたが、5月中旬には豊川用水の水源である宇連ダムの貯水率がゼロになりました。しかしながら、6月の梅雨に入り、貯水率もようやく回復してまいりました。この間、関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

豊川用水は昭和43年の管理開始以来、50年にわたり諸先輩を始め関係する皆様方に支えられながら、愛知県東三河地域及び静岡県湖西市に、農業用水、水道用水及び工業用水を送り続け、この地域の発展に大きな貢献を果たしてまいりました。

この豊川用水を次の世代にしっかり受け継いでいくために、二期事業で実施しております大規模地震対策及び水路改築を着実に推進するとともに、管理業務を適切に実施し、水の安定供給を図ってまいります。関係する皆様のご支援とご協力を改めてお願い申し上げます。



中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける6月26日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曾川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の6月降雨量は平年を下回る状況（平年比38%～72%）となり、4ダム合計の貯水率は70%（平年比85%）と、平年を下回る貯水状況となっています。

愛知用水では、1月からの降水量が例年に比べ少ない状態が続いており、河川の流量が減少し、4月5日より節水対策を継続しています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの6月降雨量は、平年並みの状況（平年比95%～109%）となりましたが、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は63%（平年比80%）と平年を下回る貯水状況となっています。

豊川用水では、水源施設の貯水量及び河川流況が回復したことから、4月12日から実施

してきた節水対策を、6月18日午前9時を持って解除しました。

引き続き降雨、河川の流況等の情報をきめ細やかに把握するとともに、関係機関と緊密に連携して、施設の適切な運用、水源情報の提供等に努めてまいります。

中部管内各ダムにおける6月の降雨及び利水貯水率（6月26日現在） 単位：（％）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	38	41	72	51	95	109	58	71
利水貯水率	30.7	67.9	99.3	98.4	44.7	81.8	62.9	100
（平年比）	（44.3）	（76.5）	（102.5）	（113.2）	（61.2）	（92.5）	（79.6）	（100）

・中部支社管内の渇水情報は中部支社HP内の「渇水情報」で、各ダム貯水状況等は、「水源情報」でご覧いただけます。

中部支社HP <http://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「渇水情報」 http://www.water.go.jp/chubu/chubu/kassui_jouhou31.html

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報 <http://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新） <http://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

http://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessui_jyouhou31-1.html

新着情報

中部支社

○「なごや水フェスタ」に中部管内3ダムが出展



■ 水資源機構のブース前

6月2日（日）に名古屋市上下水道局主催の「なごや水フェスタ」にて、味噌川ダム、岩屋ダム、徳山ダムの3ダムが展示ブースを設けPR活動を行いました。このイベントは、毎年6月1日から7日までの水道週間になんで開催されるもので、木曽三川の流域内の特産物販売や浄水場の施設見学が行われました。

水資源機構では、名古屋市水道の水源である3ダムについてそれぞれパネルを使って来場者

の方に説明するとともに、ダム湖周辺に生息するアカハライモリの展示などを行いました。

当日は、会場となった鍋屋上野浄水場には約8,000人の入場者があり、無料で配布したコースターや流木、流木チップも人気で午前中にすべて配布終了となってしまいました。

引き続き水源のダムを管理している水資源機構として、水の大切さなどをPRしていきます。



■ アカハライモリの赤いおなか

豊川用水総合事業部

○ 節水を解除しました

豊川用水流域では、昨年末からの降雨量が例年の半分以下となっており、その影響を受けて過去に例を見ない渇水となりました。

5月19日(日)午前5時には豊川用水の水源である宇連ダムの貯水率がついに0%となり、同7時より静岡県にある佐久間ダムからの導水を行いました。

また、これに先立ち、5月17日(金)には宇連ダムにおいて報道関係者向けの現地説明会を開催し、宇連ダムの渇水の状況が連日全国ネットのニュースや新聞等で報道されることとなり、非常に多くの方に厳しい状況を知っていただくとともに、節水に対する意識を持っていただけることとなりました。

関係土地改良区主催で開催されました水神祭の甲斐もあつてか、6月に入って降水量も増え、6月17日には宇連ダムの貯水率も40%を超える程にまで回復しました。

当事業部では、節水の呼びかけを行うとともに、関係機関と連携し適切な水管理を行ってきましたが、6月18日午前9時をもって、節水を解除することができました。



■ 渇水報道説明会の様子



■ 5月19日貯水率0%の宇連ダム

○ 奥三河のダム巡りツアーが開催されました

5月23日（木）、豊橋鉄道株式会社が企画する日帰りバスツアーの一環として、「迫力満点！奥三河のダム巡り」が開催されました。

このツアーは、豊川用水の水源地域を含む奥三河の魅力を再発見し、地域活性化につなげる官民共働事業として同社と愛知県、当事業部のタイアップにより企画され、豊川用水に対して関心を高めてもらうことを目的に、普段一般に公開していない大島ダムの堤体内部や大野頭首工の魚道等を見学していただきました。

東は神奈川県、西は兵庫県と幅広い地域から参加された35名のツアー参加者には、大島ダムの堤体内部を歩いたり、大野頭首工魚道を遡上するアユを見学するなど貴重な体験ができ、見学終了時に職員から豊川用水のPRグッズとともにダムカードを配布しました。終了後のアンケートでは「普段は公開されていない施設を見学できて良かった」、「職員の説明が分かりやすかった」などの感想をいただき、大好評でした。

引き続き、水源地域をはじめとする当地域の魅力について再発見し、活性化につなげるべく、職員一同丁寧な見学対応に努めてまいります。



■ ダム見学説明（大島ダム）



■ 魚道見学（大野頭首工）

木曾川水系連絡導水路建設所

○ 第10回長良川源流の森育成事業に参加しました

5月12日（日）、「第10回長良川源流の森育成事業」に参加しました。

本事業は、郡上漁業協同組合が主催して、「郡上鮎」を育む清流長良川の水涵養と、山から川へ、そして海へと続く源流部の森を育成し、豊かな生態系を維持・増進することを目的として、毎年実施しているもので、本年で10回目を迎えております。

今年度は総勢125名の参加者で、機構からは中部支社、長良川河口堰管理所、当建設所及び総合技術センターの職員合わせて10名が参加し、郡上市白鳥町六ノ里栃洞地内の山林において、トチノキ、ホオノキ、コナラ、カツラ、ヤマザクラ、ヤマハンノキの苗木500本の植樹となりました。

当日は絶好の晴天に恵まれ、野島岐阜県議会議員の来賓挨拶の後、各班に分かれ植樹山林に移動し各班長の指導の下、植樹作業を実施するとともに、ニホンジカの食害防止のための獣害対策ネット張りの作業のお手伝いも行いました。

この日植樹した苗木が立派に生長し、清流長良川の水源涵養や豊かな生態系を維持・増進の一助になることを願ってやみません。



■ 開会式の様子



■ 植樹作業の様子

愛知用水総合管理所

○ クリーンアップ愛知池を実施しました！

5月15日（水）、「クリーンアップ愛知池」を実施しました。

この活動は、貴重な水辺と緑豊かな財産として、地域の方々に親しまれている愛知池の環境保全等を目的に、毎年4月から9月までの第3水曜日に実施しています。

今年は、雨が少ない状態が続いている影響もあり、当日の愛知池は水位が低く、いつもは水の中になっているところまで入って、ゴミを回収しました。



■ 回収したゴミといっしょに

○ 産官学連携講座授業で愛知池に関する講義を行いました

5月21日（火）、愛知学院大学日進キャンパスにて、「産官学連携講座」の一環として「愛知池地域資源化の可能性と課題」と題して、愛知学院大学生や一般聴講者計103名を対象に約90分の講義を行いました。

本講座は、年間15回の講義により、地域の観光資源、観光政策に関する専門知識等の習得とともに、観光ホスピタリティや情報収集などの汎用的能力を身に付けることを目的としており、観光資源や観光政策マネジメント経験者を講師とし、単位認定者に対しては日進市より「観光ホスピタリティ認定書」が授与されるものです。

今回は、昨年度に引き続き日進市及び愛知学院大学から「愛知池の管理者」として講演要請があったことから、機構事業のPRを兼ねて講義を行いました。

講義では、愛知池の構造・目的等のほか、機構事業や愛知用水事業について説明するとともに、機構における地域創生に係る取り組み事例の紹介などを行い、機構事業に触れる機会の少ない大学生に対して、水資源機構を知ってもらう良い機会となりました。

次年度以降も消極的ではなく積極的に引き続き協力し、愛知用水事業のPRに繋げていきたいと考えています。

○ 愛知用水利水者連絡協議会の植樹祭が開催されました

5月29日（水）、牧尾ダム（王滝村・木曾町）において、愛知用水利水者連絡協議会が主催する植樹祭が開催されました。

この植樹祭は、愛知用水通水30周年を記念して行われた「愛知用水サミット」での宣言を受け、平成4年度から活動が始まったものです。

当日は、水源地・受益地域から62名の参加があり、3人一組の編成でナナカマド・カエデの苗21本を丁寧に植え付けました。

今後も、水源地域と受益地域の人々が共に「水の絆」を大切する取り組みが、末永く行われていくことを願っています。



■ 植樹作業の様子

木曾川用水総合管理所

○ 大規模地震に備え危険箇所の現地点検を実施しました

いつ起きてもおかしくない大規模地震の発生に備え、発災時に指揮を執る者を中心に施設の被災危険箇所、第三者被害の可能性がある箇所及び応急復旧方法を事前に把握するため、5月22日(水)、木曾川右岸施設、5月23日(木)、濃尾第二施設の現地点検を実施しました。

職員のみで実際に施設周辺の状況を確認することにより、発災時には本部から正確に指揮することが可能となると考えます。引き続き災害に備えた取り組みを進めてまいります。



■ 施設点検（木曾川右岸施設）



■ 施設点検（濃尾第二施設）

○ サツキマスの郷土料理を初体験！

5月29日(水)、稲沢市立長岡小学校の6年生の児童に、古くからこの地域で親しまれてきた郷土料理サツキマスの炊き込みご飯と刺身を味わう体験学習会を開催しました。

この取り組みは平成17年度から行っており、今回で15回目の開催となります。昨年の12月に木曾川漁協提供のアマゴの稚魚約1700匹を木曾川大堰から放流し、海で成長して木曾川にサツキマスとして戻ってきた魚の生態や成長、漁の方法などについて学習しました。

その後、JA愛知西のご協力により準備されたサツキマスを使った炊き込みご飯と、漁協に提供していただいた刺身を味わいました。近年は漁獲量が減っているサツキマスの料理とあって、初めて口にする児童も多く、児童にとってとても貴重な経験となりました。



○ 水質事故対応訓練を実施しました

5月15日（水）、防災訓練の一環で水質事故対応訓練を実施しました。河川での水質事故発生時に迅速に対応するため、備蓄資材の保管場所を確認するとともに、木曽川で発生した油流出事故を想定して、木曽川大堰取水口にオイルフェンスの連結設置、オイルマットによる油の回収、小型移動式クレーンの動作確認、オイルフェンスを固定するためのロープワークの訓練をそれぞれ実施し、職員の防災力の向上を図りました。



■ 大堰取水口にオイルフェンス設置訓練

岩屋ダム管理所

○ 洪水対応演習を実施しました

岩屋ダムでは、4月22日（月）から4月23日（火）にかけて洪水対応演習を実施しました。このような演習を行うことで、実際に洪水があった際に迅速な対応や円滑な情報伝達が行えるようになります。これから雨が多くなる季節ですが、洪水の際には、今回の訓練を活かした、迅速かつ円滑な対応を行えるよう職員一同努めて参ります。



■ 洪水対応演習の様子



■ 施設点検の様子

○ 鮎の迷入防止実験を行いました

飛騨川の支川である馬瀬川では稚鮎の放流が始まっていますが、例年、生育環境としては不適切なダム下流側へ多くの鮎が迷入してしまいます。このため、馬瀬川下流漁業協同組合と協働して、川に“おどし”と呼ばれる仕掛けを設置し、鮎の迷入を防止する実験を4月24日（水）より行っています。

毎年、金山町ではアユ釣り解禁とともに多くの釣り人が入川し、アユ釣りを楽しんでいます。今回設置した“おどし”が有効であれば、今後、今まで以上にアユ釣りを楽しめるかもしれません。



■ “おどし” の設置作業

○ 水源地保全活動に参加しました

5月21日（火）、岩屋ダム湖畔の卯野原神社前において、名古屋市民でつくる名古屋市上下水道局のサポーター組織「アメンボクラブ」と「上下水道モニター」の方々による植樹と清掃活動が行われました。この活動は平成18年度から実施しており、岩屋ダムでの実施は今年度で13回目となります。昨年度と同様に真夏を思わせる強い日差しの中、参加した会員の方々と汗を流しながらダム湖畔でアセビの苗木15本の植樹と周辺清掃を行いました。今後もこのような活動に積極的に協力していきます。



■ 約50名での作業



■ 岩屋ダムの職員も協力

阿木川ダム管理所

○ 洪水対応演習を実施しました

4月22日(月)、23日(火)の2日間、洪水期に備え、洪水対応演習を実施しました。

演習においては、関係機関に協力していただき、防災操作に関する通知や情報等の連絡、スピーカー放送やサイレン吹鳴、下流河川状況の巡視、ゲート点検等を実働で行いました。

演習では、洪水対応の進捗について全員で情報共有を行い、自身の次の行動を考えながら、実際の洪水対応と同じ緊張感を持って臨みました。

阿木川ダムでは、洪水期を迎えましたが、演習で確認したことを踏まえ、適切かつ円滑な対応により防災操作を行っていきます。



■ 洪水対応演習の様子



■ 現地からの報告訓練の様子

○ 貯水池周辺の環境保全活動に参加しました

★ ダム湖周辺の清掃活動に参加しました

5月30日「ゴミゼロの日」に、地元の方、中津川市、当管理所及び関係者で協力し、阿木川ダム湖の上流(阿木川沿い)周辺の環境美化活動として、清掃活動を行いました。

当日は暑い日でしたが、涼しくなった夕方に、総勢35名ものボランティアが集結し、ゴミを回収しました。



■ ゴミの収集状況

★ 特定外来植物オオキンケイギクの駆除及び清掃を行いました

6月4日(火)、阿木川ダム湖のダムサイト周辺の環境保全のため、オオキンケイギクの駆除と清掃活動を行いました。

オオキンケイギクは、特定外来生物に指定されており、繁殖力が非常に強く、在来の植物の生育場所を奪うなど、生態系に重大な影響を及ぼすおそれがあることから、当管理所では駆除を毎年実施しております。

また、ダムサイト周辺はウォーキングを楽しむなど多くの方が訪れますが、来訪者を気持ちよく迎えらるよう、清掃活動も同時に行いました。

当管理所では、引き続き、ダム湖周辺の環境保全及び水源の美化に努めていきます。



■ 大量発生したオオキンケイギク

○ 阿木川ダム防災操作に関する説明会を開催しました

5月28日(火)、阿木川ダムでは、報道機関を対象とした「阿木川ダム防災操作に関する説明会」を開催しました。

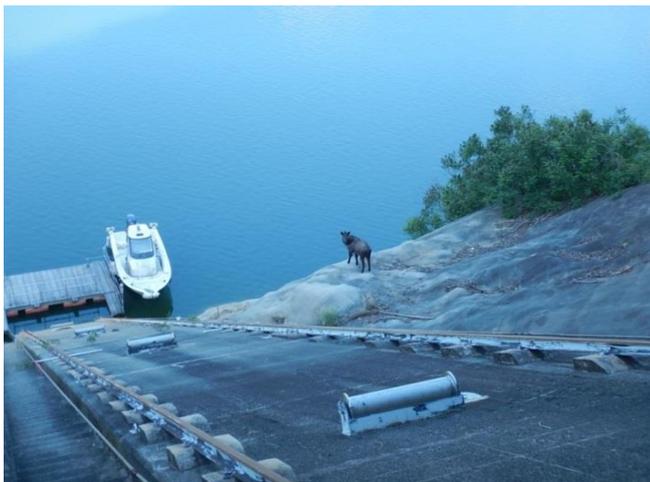
これは、阿木川ダムにおける防災操作の内容や日頃の管理業務等について、理解を深めていただくとともに、更なる円滑な情報発信に向けた取組につなげることを目的に、昨年より行っているものです。

当日は、ダムの概要や業務内容の説明を行い、記者からは「ダムからの水供給の流れ」「渇水について」等の様々な質問があり、ダムの役割、効果や仕組み等について正しく理解いただく機会とすることができました。

○ 阿木川ダム周辺に野生動物出現のための注意喚起を行いました

6月上旬に阿木川ダムサイト周辺においてカモシカが目撃されました。ダムサイト周辺は多くの方が訪れるため、当管理所では、来訪者の安全のために、ツイッターや看板設置での注意喚起を行っています。

また、近隣の恵那市岩村町でも、熊の目撃情報もありますので、訪れる際は、十分にご注意願います。



■ ダムサイト近くに現れた野生のカモシカ



■ 注意喚起の看板設置

徳山ダム管理所

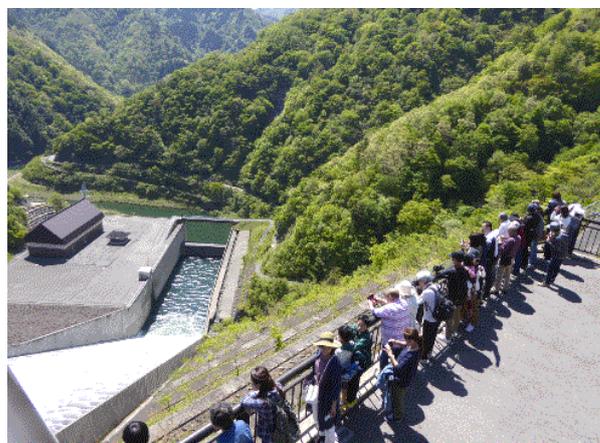
○ 徳山ダム洪水吐きからの点検放流を行いました

徳山ダムでは、5月3日（金）4日（土）の2日間、洪水吐きからの点検放流を行いました。普段は洪水吐きから放流することはありませんが、これから雨が多い時期を迎えるにあたり、施設の操作を点検確認するとともに、ゴールデンウィークにあわせて多くの方々にダムの役割や機能を体感いただくため、地元揖斐川町の観光PRと協働して毎年実施しています。

今年は天候にも恵まれ、2日間で約3,000名の方々が来訪されました。

放流は、午前10時から午後3時までの間に毎正時から30分毎に5分間行いましたが、来訪者は洪水吐きを流れ落ちる水流で現れるウロコ模様を目の当たりにして、その美しさに感動していました。

また、5月4日（日）には、テレビ朝日スーパーJチャンネル（関東地方ローカルニュース）でダム好きのお天気キャスター今村涼子さんが来訪され、5月16日に番組で紹介されました。





■取材のインタビューを受ける職員



■取材では徳山ダムカレーも紹介

○ 徳山ダム体験ツアー（新緑の徳山ダム堤体登坂）

5月13日（月）、18日（土）の2日間、揖斐川町にある徳山ダムの役割や機能、歴史などをより体感し、揖斐川町の魅力を発見いただけるよう揖斐川町、旅行会社と徳山ダム管理所が合同で企画した徳山ダムの堤体を歩いて登る体験ツアーの皆様が催されました。

ツアーでは、徳山ダム堤体を歩いて登る際、洪水吐きからの点検放流の様子を見て、徳山ダム堰堤の土の材料を採取したコア山での植生回復を願う記念植樹を行うなど、通常のツアーでは、なかなか体験できない取組みを通じて、徳山ダムの歴史や大切な役割、自然環境保全の取組みなど理解を深めていただきました。



■ 堤体を登る参加者



■ 下から堤体と洪水吐きを見学

○ 揖斐川町内小学生の徳山ダム体験学習を実施しました

揖斐川町では、町内の小中学生に地元の徳山ダムをよく理解してもらうため、毎年授業の一環として徳山ダム見学を行っています。

今年は、子供たちにより良く徳山ダムのスケールや役割を理解してもらえるよう、管理用船舶を使って洪水吐きや選択取水塔を間近で目の当たりする巡視体験を行いました。

5月16日（木）、町内で初めて巡視体験した養基小学校の児童は、ダムの役割や水の大切さを体感し、大人になっても記憶に残るものとなったようです。



○ 徳山湖でEボート体験を実施しました



揖斐川町では、将来を担う子供たちに徳山湖周辺の美しい自然をより身近に体感してもらおうEボート（手漕ぎのゴム製ボート）を漕ぐ体験を行いました。

5月23日（木）は、大和小学校の児童が体験し、すばらしい晴天のもと広い徳山湖と周辺の美しい自然を体感し、忘れられない思い出となったようです。

長良川河口堰管理所

○ 第24回木曾三川交流レガッタに参加しました

5月12日（日）、長良川国際レガッタコース（岐阜県海津市海津町金廻地先）において、第24回木曾三川交流レガッタが開催されました。

本大会は、木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）の豊かな河川空間の活用と河川愛護を図る一環として毎年2回（5月・9月）長良川において開催されています。

当日は五月晴れの絶好のコンディションの中、75クルーが種別毎に熱戦を繰り広げました。水資源機構からも当管理所と木曾川用水総合管理所より2クルーが参加し、大会を盛り上げました。



■ 水機構のクルー

次回又は来年のレースには、腕と体力に自信があり、自然と親しみたい方は是非、参加してみても如何でしょうか。

味噌川ダム管理所

○ 味噌川ダムで職場体験を行いました

愛知県犬山市の犬山中学校は、校舎のすぐそばを木曽川が流れていることから、2年生の木曽総合学習として木曽川上流の自然や文化を学習するため、毎年2泊3日で上流の木曽地方を訪れ、グループに別れて職場体験を行っています。

この木曽総合学習は今年で21回目を迎え、味噌川ダムにも2日目の5月30日（木）に7名の生徒が職場体験をすることになりました。

体験内容は、味噌川ダムの役割についての説明から、操作する機器についての説明を受け、生徒たちは、真剣な眼差しで聞いていました。

来年も、このような生徒の体験学習の機械に、木曽川の水源地の情報を伝えてまいります。



■ 味噌川ダムの説明状況



■ 様々な機器についての説明

三重用水管理所

○ 赤川の清掃活動を実施しました

5月10日（金）、三重用水管理所は、ホタルの飛翔シーズンに備えて、菰野調整池（きらら湖）直下流の赤川沿いの清掃・除草作業を行いました。

これは、赤川において環境保全などについて地域活動を行っている「まこもの里自然に親しむ会」と協働で実施したものです。

三重用水管理所では、ホタルをはじめとする水辺の生物たちが、元気よく生活出来るよう引き続き環境保全活動にも取り組んでいきます。



■ 清掃活動の様子

○「第22回ツアー・オブ・ジャパン いなベステージ」が開催されました

5月21日（火）、国内最高峰の国際自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパンいなベステージ」が全8ステージの第3ステージとして開催され、三重用水管理所も中里貯水池を駐車場として開放し大会に協力しました。当日は大賑わいで、大会のスムーズな運営に貢献することができました。

晴天に恵まれ日本では3路線しかなくなったナローゲージの三岐鉄道北勢線の終着駅である阿下喜駅前をスタートし、中里貯水池周辺を駆ける周回コースを経て、梅まつりで有名な農業公園梅林公園をゴールとする全長127.0kmのコースに、海外7チーム、国内9チームの全16チームが参加しました。いなべ市の自然豊かな起伏に富んだコースで白熱のレースを展開し、手に汗を握る熱戦に会場も大盛り上がりでした。



■ 疾走するレーサー

イベントカレンダー

中部管内関連のイベントカレンダー

【令和元年7月～8月】

7月		機構のイベント	地域のイベント
日	曜		
13	土		防災フェア桑名 2019 (桑名市ほか) 7/13～7/14.
14	日		親子さかなつかみ大会 阿木川ダム上流にて (中津川市)
17	水	クリーンアップ愛知池 (愛知用水)	
27	土		桑名水郷花火大会 (桑名市ほか)

8月		機構のイベント	地域のイベント
日	曜		
1	木		
3	土		三好池まつり (みよし市) 木曾川源流祭り (木祖村)
4	日	水の週間 長良川河口堰施設見学会	
6	火	愛知用水のふるさと牧尾ダム を訪ねて (上下流交流会)	
21	水	クリーンアップ愛知池 (愛知用水)	
24	土	阿木川サマーフェスティバル (阿木川ダムほか)	
29	木	水通信の配信予定日	

編集後記

【担当課：中部支社事業部水管理・防災課】

「令和」最初の・・・、「令和」初めての・・・、とのフレーズは、かなり使い切った感がありますが、飽きずに「令和」を使つての編集後記です。

今年度は年度当初から渇水傾向となり、愛知用水と豊川用水では「令和」初めての節水対策を実施しました。

この時期の節水対策実施は過去にあまり経験がなく、関係利水者や関係機関の皆様と様々な調整を実施しながら対応してきたところです。

特に豊川用水では、「昭和」60年以來34年ぶり、「令和」になり初めて宇連ダムが貯水率0%となり、これ以降は各マスコミから節水とは違う話題が取り上げられました。

その後、東海地方では、6月7日ごろに（「令和」初めての）梅雨入りしたとの発表がなされた以降、適度な降雨もあり、豊川用水では6月18日に節水対策を解除したところです。

しかしながら、愛知用水では引き続き節水対策を継続中（※6月20日時点）ですので、今後も適度な降雨に期待しつつ、皆様との情報共有、節水対応に努めて参ります。



今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

mailto:chubu_water@water.go.jp

*** 『第169号は、8月下旬に発行する予定です。』 ***

バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

<http://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html>



☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：	http://www.water.go.jp/chubu/chubu/
豊川用水総合事業部：	http://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/
木曽川水系連絡導水路建設所：	http://www.water.go.jp/chubu/kisodo/
愛知用水総合管理所：	http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/

木曾川用水総合管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/>
岩屋ダム管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/iwaya/>
阿木川ダム管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/agigawa/>
徳山ダム管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/>
長良川河口堰管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/nagara/>
味噌川ダム管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/misogawa/>
三重用水管理所：<http://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/>

発行者：水資源機構中部支社